

2024年4月の例会 淀川左岸幹線水路 春の水生生物調査報告

淀川左岸幹線水路での水生生物調査を令和6年4月7日（日）に実施しました。当日は良いお天気に恵まれて、例会&総会は無事終了しました。当日の気温は午前9時に17.7℃、13時に24.5℃（気象庁枚方）でした。当日の定点ポイントでの平均水温は、17.1℃、平均pHは7.93でした。

参加人数は、17名となりました。

■ 定量調査

(St.1～St.6* 各投網2回ずつ)

	魚種名	個体数	体 長 (mm)		
			最小	最大	平均
1	コウライモロコ	8	22	75	46.0
2	カマツカ	6	40	80	61.2
3	オイカワ	4	22	36	26.5
合計	3 種	18	22	80	—

*:最下流部の St.6 は水が無かったため未調査

■ 定性調査(タモ網、投網など)

	魚種名	個体数	体 長 (mm)		
			最小	最大	平均
1	コウライモロコ	93	19	67	30
2	ヌマチチブ	31	21	65	39
3	カマツカ	17	38	93	59
4	オイカワ	11	20	34	27
5	ヨシノボリ類	3	32	34	33
6	フナ類	2	89	340	215
7	コイ	2	320	500	410
8	ブルーギル	2	25	31	28
合計	8 種	161	19	500	—

*:最下流部の St.6 は水が無かったため未調査

今回の調査では、全体で8魚種を確認しました。二枚貝は、イシガイ、トンガリササノハガイ、シジミ類、ドブガイ（タガイ）を確認しています。他に、ヌマエビ、スジエビ、ミシシippアカミミガメ、ハグロトンボのヤゴ、コオニヤンマのヤゴ、カゲロウの幼生を確認しています。

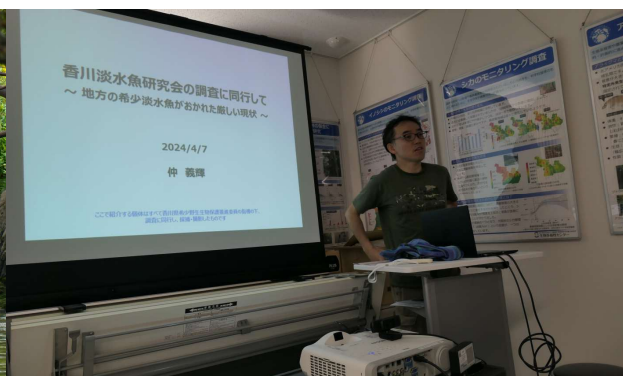
計測作業終了後、調査結果のまとめと講演会&総会を開催しました。講演会の講師は、仲さんをお願いしました。「香川淡水魚研究会の調査に同行して ～地方の希少淡水魚がおかれた厳しい現状～」というタイトルで話題提供していただきました。講演の後、総会も無事終了しました。

前のページで書くスペースが無かったので、ここに書きますが、1月の例会後の勉強会でも、仲さんが講師となり、「関西もんとは違う九州の淡水魚 ～代表的ないくつかをご紹介します～」という話題提供をしていただいています。ありがとうございました。

<新城 賢浩>



▲春例会の様子



▲講演会の様子